

第14回 栃木市・岩舟町合併協議会 会議録

平成26年1月22日（水）午後2時00分
栃木市保健福祉センター

栃木市・岩舟町合併協議会

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 4 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会	
開 催 日 時	平 成 2 6 年 1 月 2 2 日 (水) 1 4 時 0 0 分 開 会 ・ 1 4 時 3 4 分 閉 会	
開 催 場 所	栃 木 市 保 健 福 祉 セ ン タ ー	
議 長 氏 名	鈴 木 俊 美	
出 席 者 及 び 欠 席 者 氏 名	別 紙 1 の と お り	
事 務 局 氏 名	別 紙 1 の と お り	
会 議 事 項	1 議 題 別 紙 2 「 会 議 事 項 」 の と お り	2 会 議 結 果 ・ 審 議 事 項 議 案 第 1 8 号 原 案 の と お り 確 認
	会 議 の 経 過 (議 事 の 要 旨)	
会 議 資 料	第 1 4 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会 次 第 ・ 座 席 表 ・ 委 員 名 簿 第 1 4 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会 会 議 資 料	
そ の 他 の 事 項		
会 議 録 の 確 定		
確 定 年 月 日		記 名 押 印
平 成 2 6 年 2 月 2 4 日		委 員 _____ 柴 田 保 男 _____ ⑩ 委 員 _____ 渡 邊 仁 一 _____ ⑩

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	鈴木 俊美	副会長	市村 隆
委 員	山本 元久	委 員	山崎 仁一
委 員	高岩 義祐	委 員	氏家 晃
委 員	渡邊 仁一	委 員	富田 清
委 員	大川 秀子	委 員	梅澤 米満
委 員	栃木 孝	委 員	茂呂 健市
委 員	赤堀 明弘	委 員	和久井 紀明
委 員	臼井 浪之助	委 員	大橋 重
委 員	大島 常子	委 員	柴田 保男
委 員	小倉 久緒	委 員	佐山 耕基
委 員	大島 治	委 員	恩田 孝子
委 員	安藤 宣好		

出席者（規約第10条第4項に基づく関係職員等）

小川 昌樹（栃木県総合政策部次長兼市町村課長）

中村 祐司（宇都宮大学国際学部大学院国際学研究科教授）

出席者（監査委員）

板倉 安秀

欠席者（委員）

岩下 邦夫

欠席者（監査委員）

池田 務

出席者（幹事）

幹事 赤羽根 正夫（栃木市総合政策部長）

幹事 和久井 弘之（栃木市総務部長）

幹事 川 島 章男（岩舟町企画課長）

幹事 五十畑 恵造（岩舟町総務課長）

出席者（事務局）

天海 俊充（事務局長）

山野井広実（総務チームリーダー）

糸井 孝王（事務調整チームリーダー）

原 雄一郎（事務調整班）

上岡 誠志（総務班）

別紙2 会議事項

1 開 会

2 会長・副会長あいさつ

3 議 事

(1) 審議事項

議案第19号 栃木市・岩舟町合併協議会の廃止について

(2) 報告事項

報告第20号 合併協定項目の具体的な調整結果について

報告第21号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算見込みについて

4 そ の 他

6 閉 会

別紙 3

(会議の経過)

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
天海事務局長	<p>1. 開会</p> <p>ただいまから第14回栃木市・岩舟町合併協議会を開会いたします。私は、司会進行を務めさせていただきます、合併協議会事務局の天海です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 会長・副会長あいさつ</p> <p>それでは、次第2「会長・副会長あいさつ」に入りますが、冒頭お二人にあいさつをと考えておりましたが、本日が最後の合併協議会になる予定でありますので、閉会にあたりまして、改めて正副会長からごあいさつをいただきたいと存じます。従いまして、申し訳ございませんが、会長あいさつに代えさせていただきます。</p> <p>それでは、会長であります、鈴木栃木市長からごあいさつを申し上げます。</p>
鈴木会長	<p>本日は、第14回の栃木市・岩舟町合併協議会を開催をさせていただきましたところ、委員の皆様、傍聴者の皆様におかれましては、ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>今、司会のほうからございましたとおり、今日が最後の合併協議会でございます。色々、頭の中にこれまでのことが浮かんでくるような、そんな気も少しいたしますが、まずは粛々と今日の議題等についてご審議をいただきたいというふうに思います。そして、無事終わりました最後には、皆様とともにこれまでの長い間の様々なことについて、少しセンチメンタルになって無事終了できればというふうに思っています。</p> <p>今日は何卒、よろしくお願いいたしますを申し上げます。</p>
天海事務局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の3「議事」に入りますが、事務局から議事に先立ちまして、会議運営等に関しましてご報告させていただきます。</p> <p>まず、委員等の出欠でございますが、岩下委員におかれましては、本日所用により欠席とのご連絡をいただいております。</p>

	<p>本日の出席委員は21名で、会議の定足数に達しておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録署名委員でございますが、本日の署名委員は、栃木市の柴田委員と岩舟町の渡邊委員にお願いいたします。</p> <p>最後に、委員の皆様をお願いがございます。</p> <p>会議の中でご発言いただく際には、職員がマイクをお持ちいたしますので、最初に市町名とお名前をおっしゃっていただいてから、ご発言願いたいと思います。</p> <p>ご協力よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、会議の議長につきましては、規約によりまして、会長があたることとされておりますので、鈴木会長、よろしくお願い致します。</p>
鈴木会長	<p>3. 議事</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>議案第19号 栃木市・岩舟町合併協議会の廃止について</p> <p>はい。では早速、3 議事 に入らせていただきます。</p> <p>(1) 審議事項 であります。</p> <p>議案第19号 栃木市・岩舟町合併協議会の廃止について であります。事務局から説明を願います。</p>
山野井 T L	<p>はい。総務班の山野井でございます。よろしくお願い致します。</p> <p>会議資料の1ページをご覧ください。「議案第19号 栃木市・岩舟町合併協議会の廃止について、別紙のとおり提案する。」というものでございます。2ページをお開きください。</p> <p>合併協議会につきましては、両市町の合併に関する協議、合併市町村基本計画の作成、及びその他合併に関する必要な事項の調整がすべて完了し、その設置目的を達成することから、栃木市議会及び岩舟町議会において合併協議会の廃止に関する協議を行なうことについての議決を経た後、合併協議会を廃止することにつきまして審議を頂くものでございます。</p> <p>協議会の廃止日、並びに廃止に伴う取扱いは、ご覧のとおりでございます。読み上げまして説明とさせていただきます。</p> <p>1 合併協議会廃止年月日。 平成26年3月31日。</p> <p>2 廃止に伴う取扱い。</p>

<p>鈴木会長</p>	<p>(1) 平成25年度協議会歳入歳出決算関係。</p> <p>①第14回合併協議会において、決算見込を報告する。</p> <p>②協議会の収支については、協議会規約第19条の規定に基づき、協議会廃止の日をもって打ち切り、会長がこれを決算する。</p> <p>③決算の認定については、協議会廃止の日に、会長が協議会監査委員の監査に付し、監査結果の報告を受けた後、協議会委員に決算書、監査報告書の写し及び事業報告書を送付することにより、協議会の認定を得たものとみなす。</p> <p>④決算剰余金については、栃木市にすべて引き継ぐものとする。</p> <p>(2) その他</p> <p>①事務用品及び文書等については、栃木市にすべて引き継ぐものとする。</p> <p>②協議会廃止後の事務処理等については、栃木市にすべて引き継ぐものとする。</p> <p>③合併協議会公式ホームページについては、協議会廃止の日で、更新を終了し、閉鎖する。</p> <p>なお、ホームページ閉鎖後は、栃木市で管理をし、栃木市公式ホームページ内で、合併協議の経過記録として、しばらくの間、現在と同じアドレスで公開する。</p> <p>以上の通りでございます。</p> <p>なお、3ページには、参照条文といたしまして、合併協議会規約抜粋及び財務規程抜粋を掲載いたしました。</p> <p>また、本日、委員の皆様からご承認が得られましたならば、両市町議会による協議会の廃止に関する協議の議決、両首長による協議会の廃止に関する協議書の調印、両市町における協議会の廃止に関する告示及び県知事への協議会の廃止届が行われ、3月31日をもって合併協議会は廃止となります。</p> <p>以上で、議案第19号の説明とさせていただきます。</p> <p>ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>はい。以上が、事務局からの説明でございます。</p> <p>ただ今のことにつきまして、あるいは他のことでも結構でございますが、何かありましたら、ご意見・ご質問等、よろしく願いをいたします。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>——— 質疑・応答等なし ———</p>
-------------	---

それでは、質疑ないようですので、閉じさせていただきます。
審議事項でございますので、これよりお諮りをさせていただきます。
お諮りをさせていただくにあたりましては、何度も申し上げますが、最後の審議でございますので、景気よく拍手にてお願いをいたしたいというふうに思いますので、よろしくお願いをいたします。

では、お諮りいたします。

議案第19号 栃木市・岩舟町合併協議会の廃止について 原案のとおりご承認をいただけます方、拍手にてお願いをいたします。

——— 出席委員より拍手あり ———

ありがとうございます。全員一致でのご承認をいただきました。

(2) 報告事項

報告第20号 合併協定項目の具体的な調整結果について

では、続きまして(2)報告事項に入ります。

まず、報告第20号 合併協定項目の具体的な調整結果についてであります。事務局から説明を願います。

糸井 T L

はい。事務調整班の糸井と申します。よろしくお願いをいたします。

合併協定項目(Aランク)の調整結果についてご説明申し上げます。

会議資料の4ページをお開きください。

合併協定項目の調整結果につきましては、調整方針が、「合併時に再編する協定項目」、「協議会に上程後、協議等により調整内容が変更となった協定項目」、または「協定項目の具体的な調整結果の内容」につきまして報告するものでございます。

それでは、6ページをご覧ください。

「合併協定項目10 一般職の職員の身分の取扱い」についてでございます。

調整方針につきましては、

1 岩舟町の一般職員は、市町村の合併の特例に関する法律第1

<p>鈴木会長</p>	<p>2条の規定により、全て栃木市の職員として引き継ぐものとする。</p> <p>2 栃木市と岩舟町との合併により解散となる栃木地区広域行政事務組合の一般職の職員は、全て栃木市の職員として引き継ぐものとする。</p> <p>3 職員数については、新市において適正化計画を策定し、定員管理の適正化に努めるものとする。</p> <p>4 職員の職名及び任用要件については、人事管理及び職員の処遇の適正化の観点から調整し、統一を図る。</p> <p>5 給与については、職員の処遇及び給与の適正化の観点から調整し、統一を図る。なお、現職員については、合併前の給料を保障する。</p> <p>というものでございます。</p> <p>具体的な調整結果でございます。</p> <p>職員定数につきましては、現在の職員定数は、栃木市 1,360名、岩舟町 203名、栃木地区広域行政事務組合 16名で、総合計 1,579名となっておりますが、合併後の新市におきましては、市長事務部局 995名、教育委員会事務部局 234名、消防職員195名など、合計 1,495名とすることとなります。</p> <p>職名、勤務時間、給料及び諸手当に関することにつきましては、両市町及び栃木地区広域行政事務組合において相違しております。職名や給料表などにつきましては、現在の栃木市の例により合併時に統合することとし、詳細は具体的な調整結果欄のとおりとなります。</p> <p>なお、現職員につきましては、合併前の給料を保障することとなります。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p> <p>はい。以上が説明でございます。</p> <p>それでは、ただ今のご説明等について何かございましたらお願いをいたします。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>——— 質疑・応答等なし ———</p> <p>それでは質疑がないようでございますので、お諮りをいたしま</p>
-------------	--

山野井 T L

すが、報告事項ということでございますので、ただ今の報告をもって、了とされるか否かということでございますが、ただ今の報告をもって、了とすることでご異議ございませんでしょうか？

——— 「異議なし」との声あり ———

はい。ありがとうございます。

それでは、ただ今の報告をもって、了といたします。

報告第 2 1 号 平成 2 5 年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出
決算見込みについて

続きまして、報告第 2 1 号 平成 2 5 年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算見込みについて であります。事務局から説明を願います。

はい。それでは、ご説明させていただきます。よろしくお願
いたします。

会議資料の 1 4 ページをご覧ください。

「報告第 2 1 号平成 2 5 年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算見込みについて、別紙のとおり報告する。」というものでございます。

決算見込額の報告につきましては、先ほど合併協議会の廃止について説明いたしましたとおり、合併協議会を廃止するにあたり委員の皆様にあらかじめ決算見込額を報告するものでございます。

1 枚めくって頂き、1 6 ページ、1 7 ページの平成 2 5 年度歳入歳出決算総括表をご覧ください。

現時点におきましては、予算現額 2, 2 3 7 万円に対しまして、歳入決算見込額 2, 2 3 7 万 5, 3 6 1 円、歳出決算見込額 1, 8 0 9 万 7, 9 0 5 円、歳入歳出差引残額 4 2 7 万 7, 4 5 6 円でございます。

なお、3 月 3 1 日の打ち切り決算までは 2 ヶ月余でございますので、決算時には歳入・歳出ともに、若干額に変動があり、差引残額につきましても変わってまいります。

続きまして、少しページを飛ばしまして、3 0 ページ、3 1 ページの歳入歳出決算事項別明細書をご覧ください。

歳入見込額でございます。

歳入見込額につきましては、両市町からの負担金、預金利子などの諸収入及び平成24年度からの繰越金の3つの項目から構成されております。

1款負担金につきましては、予算現額2,062万5千円に対しまして、調定額、収入済額ともに2,062万5千円でございます。

内訳につきましては、備考欄のとおり両市町からの負担金、各々1,031万2,500円でございます。

2款諸収入につきましては、予算現額千円に対しまして、調定額、収入済額ともに6,054円でございます。

内訳につきましては、預金利子1,873円、臨時職員雇用保険料の預り金4,181円でございます。

4款繰越金につきましては、予算現額174万4千円に対しまして、調定額、収入済額ともに174万4,307円でございます。

なお、1款負担金及び4款繰越金の収入済額につきましては、額が確定しておりますが、2款諸収入の収入済額につきましては、預金利子等の関係で3月31日の打ち切り決算時には変更が生じてまいります。

次に2枚めくって頂き、34ページ、35ページをご覧ください。

歳出見込額でございます。

1款運営費につきましては、予算現額271万7千円に対しまして、支出済額171万6,131円、不用額100万869円でございます。

支出済額の内訳でございますが、1項1目会議費のうち、1節報酬といたしまして、合併協議会委員さん及び監査委員さんに対する報酬として27万円、8節報償費といたしまして、オブザーバーさんに対する謝礼1万6千円、11節需用費といたしまして、会議時のお茶代として食糧費9千円でございます。

また、2項1目事務費のうち、4節共済費といたしまして、4月から9月までの6ヶ月分の臨時職員雇用に伴う社会保険料12万3,635円、7節賃金といたしまして、同じく臨時職員雇用に伴う賃金82万1,600円、11節需用費といたしまして、ファイルやインクカートリッジなど事務用品に係る消耗品費8万7,310円、12節役務費といたしまして、会議資料などの送付に伴う郵送料2万9,100円、14節使用料及び賃借料と

鈴木会長	<p>いたしまして、コピー機の借り上げ料35万9,486円でございます。</p> <p>次に1枚めくって頂き、36ページ、37ページをご覧ください。</p> <p>2款事業費につきましては、予算現額1,885万9千円に対しまして、支出済額1,638万1,774円、不用額247万7,226円でございます。</p> <p>支出済額の内訳でございますが、1項1目事業推進費のうち、11節需用費といたしまして、今年度3回発行いたします「合併協議会だより」、そして岩舟町の全世帯に配付いたします「くらしのガイドブック」などの印刷費189万8,079円、12節役務費といたしまして、3月31日に下野新聞に掲載予定の合併PR新聞広告78万7,500円、また、13節委託料といたしまして、条例や規則などを統合整備するための合併例規整備業務委託や電算ネットワークシステムを統合整備するための電算統合関係業務委託及び合併啓発を目的としてポケットティッシュやのぼり旗そして子供向けパンフレットなどの作成に係る合併啓発用品作成業務委託の委託料1,369万6,195円でございます。</p> <p>3款予備費につきましては、予算現額79万4千円に対しまして、支出はございませんので、79万4千円が不用額となります。</p> <p>最後に2枚めくって頂き、41ページをご覧ください。</p> <p>参考資料といたしまして、財産目録を添付いたしました。現金繰越額、いわゆる栃木市へ引き継ぐ現金でございますが、見込額といたしましては、427万7,456円でございます。その他切手、官製はがき及び備品を栃木市へ引き継ぐ予定でございます。</p> <p>なお、決算の認定につきましては、3月31日に監査委員の監査に付し、委員の皆様には決算書、監査報告書の写し及び事業報告書を送付することにより、協議会の認定を得たものとみなしたいと存じますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上、報告させていただきます。</p> <p>はい。以上、報告21号でございます。</p> <p>それでは、ただ今のご説明等に対しまして、何かございましたらお願いをいたします。</p> <p>ございませんでしょうか？</p>
------	---

天海事務局長

——— 質疑・応答等なし ———

はい。それでは、質疑を閉じさせていただきます。
報告第21号についてお諮りをいたします。
報告第21号につきましては、原案のとおりご承認をいただく
ことをご異議ございませんでしょうか？

——— 「異議なし」との声あり ———

はい。ありがとうございました。
では、以上で報告事項2件、終了いたしまして、これで審議事
項、報告事項と、終了したわけであります。
さらに、その他 がございますが、まず事務局のほうから そ
の他 がありましたらお願いをいたします。

4. その他

はい。それでは、次第の 4 その他 につきましては、今後
の予定について事務局からお知らせをいたします。
今の資料の最後のページになります。42ページをご覧ください。
今後の予定といたしまして、合併に関連した主な動きをまとめ
たものでございます。
まず、2月下旬でございますが、岩舟町の皆さんを対象といた
しまして合併に伴う住所表示の変更や各種行政サービスの変更
点、また、新たに適用となります制度等の紹介をいたしました「栃
木市岩舟地域くらしのガイドブック」を作成いたしまして配付さ
せていただく予定であります。
次に3月下旬になりますが、栃木市と岩舟町の皆さんに最終号
として、合併のお知らせと新市の概要等を掲載いたしました「合
併協議会だより」を配付いたしまして、合併の周知を図るととも
に新市の一体感を醸成してまいりたいと考えております。
次に、3月25日 火曜日になりますが、今回の合併で一旦歴史
を閉じます、岩舟町の閉町式を岩舟町文化会館（コスモスホー
ル）において開催する予定となっております。
次に合併協議会の解散日となります、3月31日には、先ほど
見込みを報告しましたが、決算監査をお願いしております。決算

鈴木会長	<p>監査を無事に受けまして、廃止ということになります。</p> <p>次に、4月5日 土曜日は、新しい「栃木市」の発足となりますが、最初の業務日となります 7日 月曜日には、岩舟総合支所におきまして支所の開所式を行う予定となっております。</p> <p>次に、4月20日 日曜日ですが、栃木市長選挙及び栃木市と岩舟町を選挙区といたします栃木市議会議員選挙が行われます。</p> <p>次に、まだ先の話になりますが、11月13日 木曜日になりますが、新しい「栃木市」の発足をお祝いするための合併記念式典を栃木市文化会館において開催する予定となっております。</p> <p>以上が、今後の予定の説明となります。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p> <p>はい。それでは、ただ今の今後の予定についてであります、皆様から何か確認したいこと等がございましたら、お願いをいたします。</p> <p>大丈夫ですか？</p> <p>——— 発言等なし ———</p> <p>はい。では、今度は皆様のほうから何かありましたら、何でも結構でございますので、ご意見等をお寄せいただければと思います。</p> <p>よろしいですか？</p> <p>——— 発言等なし ———</p>
天海事務局長	<p>はい。それでは、その他 につきましても、これで閉じさせていただきます。</p> <p>以上で、全ての議事等が終了いたしましたので、マイクを進行のほうにお返ししたいと思います。</p> <p>はい。それでは、本日の合併協議会が最後の協議会となりますので、閉会にあたりまして、正副会長よりごあいさつをお願いしたいと思います。</p> <p>はじめに、副会長であります、市村岩舟町長からごあいさつをお願いいたします。</p>

市村副会長	<p>それでは、一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>本日の第14回の合併協議会をもちまして、全協議が終了したということでございます。本当にありがとうございました。</p> <p>顧みれば、平成16年3月29日に大岩藤の合併協議会が廃止となって、それから約10年、今回は合併が4月5日に控えた意味での合併協議会廃止ということで、意味合いは大きく違うと思います。</p> <p>私は、平成23年12月に町長に就任いたしまして、翌平成24年2月の第4回の合併協議会から、この協議会に参加をさせていただきました。その時、岩舟町側から合併は編入方式でという申し入れに対しまして、栃木市の皆様が、協議はあくまでも対等にしようということでご提案をいただき、今日まで、その言葉通り、対等な協議をしていただいたということは、本当にありがたく思っております。鈴木栃木市長をはじめ、市役所職員の皆様、そして市議会の皆様、そして学識経験者の皆様、本当に長い間、慎重な協議をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>あと73日で4月5日を迎えるわけでございますが、73日間、岩舟町として最後の調整に全力で取り組み、そして、合併後は栃木市の一員として、新しい「栃木市」の発展、まちづくりに全員で協力をしたいというふうに思っております。</p> <p>今日ここにおいで、傍聴者の皆様も含めて、本当に歴史に残るこの協議に参加をしていただきましたことに、岩舟町民を代表いたしまして、感謝し御礼を申し上げるとともにですね、皆様の益々のご健勝、ご多幸を、そして、新しい「栃木市」の発展をご祈念いたしまして、簡単ではございますが、ごあいさつに代えさせていただきます。</p> <p>本当に、本当に、ありがとうございました。</p> <p>——— 拍手あり ———</p>
天海事務局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、会長であります鈴木栃木市長、ごあいさつをお願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>それでは、閉会にあたりまして、一言私のほうからごあいさつを申し上げます。</p> <p>ただ今、副会長のほうからお話ございましたとおり、この栃</p>

本市と岩舟町の合併協議につきましては、本当にこれまで様々な紆余曲折を経て、そして、それぞれの市・町が、ここに至る間にそれぞれの独自の歩みをしつつ、中途から劇的なことによりまして、合併協議に入ることができるようになったわけでありまして、

このことによって、その後は、本当にスムーズに且つお互いの立場をよくお互いに考えながら、今日まで委員の皆様のご努力を中心としまして、真摯な協議が進められてきたと認識をしております。

そして、本日を迎えるに至ったわけでありまして、ここで、皆様のお手元にある会議資料の表紙の図をご覧をいただきたいと思っております。「Tochigi City (トチギシティ)」、「Iwafune Town (イワフネタウン)」と、何で英語で書いてあるのかわからない部分もないわけではありませんが、それは別としてですね、まさに、4月5日以降はこのような新しい形となるわけでありまして。もちろん、本来、形なんてどうでもいいと言うかもしれませんが、1つのまちになっていく時に、そのまちがどんな姿形をしているのかということ、対外的に説明をしたりする際、このような新しい形になるということは、大変素晴らしいことだと思っております。合併によって、形がかえっていびつになったりとか、そういうことですと、ちょっとどうなのかなというふうにも思いますが、その点、こんなすばらしい形になってまいります。

こんなことによりまして、4月5日以降は、新たな新しい自治体として、そこに住んで生活をしていくことになる市民の皆様にとっての、ここが素晴らしい郷里となっていけるように、そして、そこに誇りをもっていただけるような、そんなまちづくりを今後はしていかなければならないというふうに思っております。

最後になりますが、今日まで、こうして無事に合併協議が進行し、そして終了することにつきましての、合併協議会の委員の皆様、あるいは終始傍聴等においてをいただいて見守っていただいた皆様に、心から感謝を申し上げ、最後の会議にあたりましての感想、そして御礼、そして今後への決意とさせていただきます。

皆様、本当に長い間お世話になりました、ありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

——— 拍手あり ———

6. 閉会

天海事務局長

ありがとうございました。

それでは、会議を閉じさせていただきます。

ただいまの時間は2時34分となっております。この時間を会議閉会時刻と定めまして、第14回栃木市・岩舟町合併協議会を閉会いたします。

委員の皆様方には、長い間合併協議会の運営に格別のご支援、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。